

■第2次常総市都市計画マスタープラン 市民ワーキング（第1回）議事要旨

- 1 開催日時 令和5年1月29日（日）10時～11時40分
- 2 場 所 常総市役所議会棟2階大会議室
- 3 議事要旨 居住者の目線から、常総市の現状や課題、将来像についての意見交換
 - お住いの地域の暮らしやすさ、暮らしにくさ
 - 10年後の地域の姿や課題
 - これからのまちづくりに活用すべき資源

①石下東地区

項 目	意見の概要
お住いの地域の暮らしやすさ、暮らしにくさ	<ul style="list-style-type: none"> ○利用できる公共交通機関の選択肢を増やすことが必要。 ○防犯上の不安。街灯の管理者が場所によって異なる。
10年後の地域の姿や課題	<ul style="list-style-type: none"> ○農業盛んだが、担い手少なくなっている。農業体験で人を呼ぶことができないか。空いている農地を活用すると良い。 ○教育施設の統廃合が進むので、通学時間の増加が問題になる。今後PTAの継続も難しくなる。医療も問題である。 ○防災の面では、関東・東北豪雨災害で被害を受けた土地や家屋も多い。最近、常総市に定住した方にも災害時の対応を周知する必要がある。地区ごとの水害対策や有事の際の事前準備も重要である。
これからのまちづくりに活用すべき資源	<ul style="list-style-type: none"> ○農業、既存の関東鉄道常総線、ふるさと納税などの外部資金の活用が必要。 ○空き地などの有効活用が必要。

②石下西地区

項 目	意見の概要
お住いの地域の暮らしやすさ、暮らしにくさ	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯カメラが少ない、小学校までの距離が長い、電車が不便、車がないと移動ができない、坂が多い（岡田地区）、狭い道路が多く大型車も入れない地域もある。また、通学路に歩道がないところも多く、子どもたちは大型車の脇を通学している。 ○外国人市民の方が増加しているが、自治会に入らずコミュニティが希薄化している。 ○自動車があれば困らず、生活しやすい。また、守谷、つくばなどへの距離が適度であること。 ○自治会と消防団の連携ができています。 ○石下総合運動公園周辺に生活施設が充実している。 ○外国人市民が増加している（国際交流としてはよい）。

10年後の地域の姿や課題	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯上のセキュリティの充実が必要。 ○外国人市民が多いので国際交流を盛んに、公共交通の充実、小中学校の合併が進むのでコンパクトな地域にして欲しい。 ○コミュニティバスが走っている地域であって欲しい。
これからのまちづくりに活用すべき資源	<ul style="list-style-type: none"> ○農地、公共施設や公有地の活用。 ○石下総合運動公園周辺、直売所、地域文化やお祭りの継承。 ○外国人市民が増えていることを強みにして欲しい。

③水海道北東地区

項目	意見の概要
お住いの地域の暮らしやすさ、暮らしにくさ	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道駅が3か所ある。バスなどの交通の選択肢も増えた。 ○店はないが車があれば不便はない。逆にいうと車がないと不便。 ○道路に照明がないので危険である。 ○アグリサイエンスバレーで、働くところがあったが、居住する家が増えるかは難しい地域。 ○子どもや地域の人が増えているが、地域の力は強い。資源回収も地域で実施しており力を合わせている。 ○水害による影響の他、人口減少が進んでいる。学校の適正配置で鬼怒中がなくなるので通学が困る。スクールバスが欲しい。
10年後の地域の姿や課題	<ul style="list-style-type: none"> ○人口が減少し防災力に支障がでるのではないかと。雇用の確保や子どもたちが住みやすいようにしたい。 ○学校が遠くなることで、子どものいる世帯が学校の近くを好み、家を継ぐのを躊躇する人も出るかもしれない。 ○アグリサイエンスバレーの効果については、未知数である。 ○子どもたちが住みやすいところになって欲しいが、教育施設の統廃合の対策が不十分なので新たに家が建たなくなるのではないかと。 ○スクールバスの確保や、空き家の活用などに対する助成が必要。
これからのまちづくりに活用すべき資源	<ul style="list-style-type: none"> ○駅を上手く利用できれば良い。 ○道路の活用を考える必要がある。

④水海道北西地区

項目	意見の概要
お住いの地域の暮らしやすさ、暮らしにくさ	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしやすさに関するものでは、市内の中心の近いこと。 ○暮らしにくさについては、買物や食事の場所が少ない、子どもが地域にない、通学路が危険、車社会なので交通の便が不便ということ。 ○大花羽小学校、菅原小学校が統合するというところで、スクールガード

	をやめる人も出ている。世代間の交流機会にもなっていたが、交流機会が少なくなった。
10年後の地域の姿や課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の姿としては、高齢化や少子化の進行、地域活動の減少などが考えられる。それを可視化して地域づくりに繋げる必要がある。 ○子育てしやすい住環境、高齢者の移動手段、孤立対策が必要。 ○スクールガードに関連するが、世代間交流の機会として、地域が子どもの教育に参加する形が必要。
これからのまちづくりに活用すべき資源	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の跡地、空き家・空き地の活用、神社などの資源を活用した地域の集まる場所づくり。 ○地域の企業との連携によるまちづくり。 ○移動販売の充実。

⑤水海道南東地区

項目	意見の概要
お住いの地域の暮らしやすさ、暮らしにくさ	<ul style="list-style-type: none"> ○不満はあまりなかった。お店が少なくなっているという問題はある。 ○小学校が近く、子どもたちが歩きで学校に通える点は良い。
10年後の地域の姿や課題	<ul style="list-style-type: none"> ○石下駅周辺の開発も予定されているので、10年後には水海道駅の開発もできればと思う。 ○適正配置で水海道小学校に集約するという事も聞いているので、通いやすくなるように移転の検討を期待したい。
これからのまちづくりに活用すべき資源	<ul style="list-style-type: none"> ○人を大切にして、外国人市民との交流や子どもたちの教育に力を入れる。

⑥水海道南西地区

項目	意見の概要
お住いの地域の暮らしやすさ、暮らしにくさ	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしにくさに関する意見が多かった。暮らしやすさとしては静か、公園、自然が豊かなこと。 ○内守谷地区では子どもが多い。 ○あすなろの里、きぬ総合運動公園などの公共施設が豊かである。 ○高齢者は暮らしにくさを感じるのではないかと。店が少ない、道が狭い、暗いことなどが暮らしにくい点。
10年後の地域の姿や課題	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の適正配置、施設老朽化、少子化、消防団の活動などが課題になる。
これからのまちづくりに活用すべき資源	<ul style="list-style-type: none"> ○広域連携、空き家・廃校の活用、高齢者の活用を進める必要がある。 ○あすなろの里や巣立山公園の活用も望まれる。